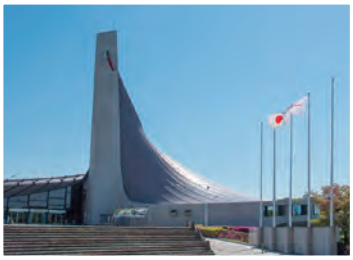
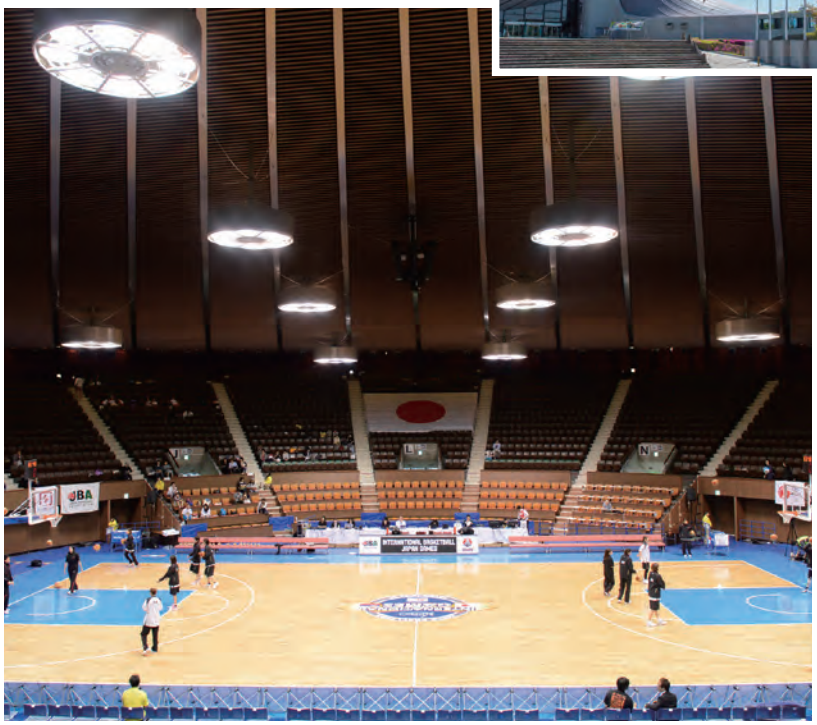
施工例 6

第二体育館　国立代々木競技場

スーパーG-3000形



東京オリンピック（1964年）大会のバスケット会場として建築され、バスケットの殿堂・専用体育館として多くのドラマを刻んできました。近年では立地条件、施設規模から国際大会、全国大会のスポーツ大会をはじめ地域の大会まで、幅広い体育・スポーツ会場として多くの人々に利用されています。



○施工概要

名　称／国立代々木競技場　第二体育館
所在地／東京都渋谷区神南2-1-1

○メイン・アリーナ／床面積：1,300㎡（33.2m×41m）
○仕上材／アサダ・フローリング t24　捨張合板 t15
○下地材／根太：デッキプレートUA75×t1.2
大引：角形鋼管100×100×3.2
○緩衝材／保護装置付緩衝材

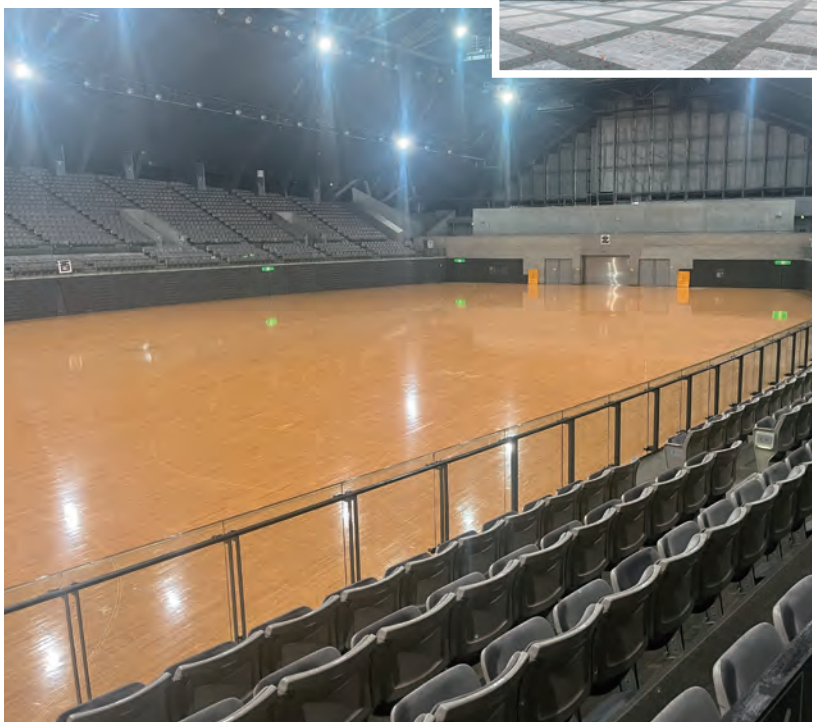
施工例 7

宮城県総合体育館（グランディ21）

スーパーG-5000形

外観は2枚の葉っぱをもたれかけさせた形状で柔らかくスムースなフォルムを表現し周囲との景観の調和を図っています。

国際大会をはじめとした国内外の大規模なスポーツ大会・幼児から高齢者まで、各種イベントやレクリエーションが楽しめる総合施設です。



○施工概要

名　称／宮城県総合体育館グランディ・21
所在地／宮城県宮城郡利府町菅谷字舘40-1

○メイン・アリーナ／床面積：3,740㎡
○サブ・アリーナ／床面積：843㎡
○仕上材／カナディアンメープル t26.2　捨張合板 t15
○下地材／根太：デッキプレート（カルマ）UA75×t1.6
大引：角形鋼管100×100×3.2
○緩衝材／保護装置付緩衝材